

核保有国は核兵器禁止へ行動を 「ヒバクシャ国際署名」をいまこそ大きく広げよう

アメリカ・トランプ政権のINF 全廃条約破棄は時代への逆流

米国トランプ大統領が、INF（中距離核戦力）全廃条約破棄を表明しました。INF 全廃条約は、「核戦争を起こさないでほしい」という世界の世論におされて、アメリカと旧ソ連（ロシア）が交わした重要な国際合意です。

それをアメリカが一方向的に破るとは米ソ冷戦時代へ逆戻りかと、国内外から批判を浴びています。核軍備拡張という逆流を許さない声を、ご一緒にあげていきましょう。



核兵器禁止条約の発効を！

いま、国際連合では、「核兵器のない世界」実現へ、核兵器禁止条約(10月29日現在、調印69か国、批准19か国)の発効など、活発に議論されています。

INFをめぐって対立しているアメリカとロシアは、一方で、イギリス、フランス、中国とともに「核兵器禁止条約は安全保障を考慮していない。支持も調印も批准もしない」と表明しています。

ヒロシマ・ナガサキを引き起こすような核兵器こそ、平和と安全への脅威です。たくさんの「ヒバクシャ国際署名」を集めて、核保有国へ声をあげましょう。

安倍 9 条改憲 NO !
3000万人署名にご協力下さい。

国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

TEL03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>